

キャリアセミナー（ビジネススキル）

【テーマ】松下幸之助に学ぶ 「仕事の原則・成功への指針」

【日 時】平成27年6月12日（金）

【講 師】佐藤 悌二郎さん（株式会社 PHP 研究所 専務取締役・経営理念研究本部長）

\*\*\*\*\*

【感想】

○仕事は公事、すなわち社会に与えられたものだという考え方は、私にとって目新しい考え方です。これまで仕事をそういうふう考えたことはありません。仕事は自分だけのことではなく、社会のためのことであるという視点から考え直してみたら、どんな仕事も意義のあるもので、真剣に取り組まなければいけないように思えました。

また、今日の授業ではふれられていませんが、松下幸之助様の次のような言葉が私の座右銘になっています。「失敗を恐れるより、真剣でないことを恐れるべし」という言葉です。仕事においても日常生活においても、すべてのことに対して、真剣に取り組むよう努力しています。今後もそうしていきたいと思っております。

最後に、松下幸之助様の理念をたくさん紹介していただき、誠にありがとうございました。

○松下幸之助さんに関しては、名前や業績に関しては知っていたものの、その生い立ちや理念については知らなかったため、今回詳しく知ることができて興味深かった。特に自分自身が現在求職中で、出来ることならば自分の興味ある職に就職したいと考えていたが、「企業は公器、仕事は公事」という企業や仕事は、世の中のためのものであり、社会から求められて初めて成立する、という考えには、職に対する考えを改める必要を感じた。

○松下幸之助さんの生い立ちからパナソニックの創業までのお話をお聞きしました。その中で、「仕事とは何ですか」、企業は社会全体のものであって、仕事は公のものであります。仕事に対して運命と感ずるべきです。仕事に対する熱心であるべきです。他の人にいかに愛されるかはビジネスマンの成功のカギです。信頼は些細なことの積み重ねです。私にとってはたくさんの知恵の宝庫で、松下幸之助さんに関する本を読みたくくなりました。

○他の「私は〇〇して成功した！」というような話は、正直あまり参考にならないと感じていました。その人固有の能力や運などに強く依存しているように思えたためです。しかし、今回の松下氏のエピソードや考え方を聞き「できる当たり前」といわれることがたくさんできたら、よくできる人だという評価につながるのだと再確認できました。ありがとうございました。

○仕事の進み方法を聞かせていただきまして、いい勉強になりました。社会への進出や人生の生き方はかなり心に刺激を与えました。仕事についても新しい考え方が生み出しました。

○松下幸之助さんの考え方に感銘を受けました。これから社会へ出て働く上で大切にしていきたいと思いました。

○仕事をする上で本当に大切なことを学べました。とても素晴らしい内容で本当に感動しました。今日聴いた内容を毎日少しずつ実践していきたいです。

○松下幸之助さんの考えに最近興味を持つことが多くなり、そのなかで今回のセミナーを知り参加できてよかったです。本以外のことを知り、益々興味がわきました。

○松下さんについてこの講義を聞いて初めて知りました。企業や働く上で大事なこと以外にも社

会人として重要な事を知れたと思っています。

○社会人となる前にどのような心構えが必要なのか、生き方とも合わせてこれからの指針にアドバイスをくれたようなお話でした。ありがとうございました。

○愛されることが大切ということが印象に残っています。それは、人生においても大切であるし、やはり経営に関しても大切なことであることがわかりました。人はやはり1人では生きられない、この基本的な考え方が大切なんだと学びました。

○何事も考え方次第で前向きにとることができると思うことができました。また、「企業は公器、仕事は公事」という姿勢を私も真似たいと思います。

○松下さんの会社に対する考え方や仕事に対する考え方を色々聞くことができ、目からウロコで、聞いて良かったです。仕事に対する考え方が変わった、というか、仕事がどういうものかが少し見えそうな気がしました。今日は貴重なお話を聞かせていただいて本当にありがとうございました。

○3年くらいはその仕事を続けることが大切とのことですが、最近企業とか働くのに厳しい会社もある中、続けるのに妥当かどうかを見極めるのはすごく大変なのではないかと思いました。